

# 中井正文と『広島文藝派』

或る郊里の地方文壇史

天瀬裕康著 2000円+税 ISBN978-4-86327-474-7

旧制第五高等学校一年で五校寮歌を作詞、東大独文科時代壇一雄、織田作之助、太宰治等と親交を深めた。戦後広島大学で独文学を講じる傍ら同人誌『広島文藝派』を主宰。その足跡をたどる。



## 第一章 出生と戦前の足跡

### 第1節 生い立ち

中井家という名門／広島郊外と広島

### 第2節 学生時代に

旧制五高の頃／『新文学派』の周辺／東大独文と同人誌

### 第3節 禍福は糾える縄の如し

「神話」の運命／「阿蘇活火山」のこと

### 第4節 先生と呼ばれる人

兵役の前後／戦争末期と原爆

## 第二章 昭和戦後の長い日々

### 第1節 作家志望の教育者

教育者としての中井／作家への再稼働

### 第2節 広島図書(株)での仕事

名画鑑賞／偉大なるゲエテの生涯／「みずうみ物語」

### 第3節 同人誌は花盛り

広島文学協会の軌跡／短詩型文学と小節

### 第4節 『広島文藝派』の創刊と休刊

創刊当時の内容／当時の周辺事項

## 第三章 平成における復刊と盛衰

### 第1節 『広島文藝派』復刊

復刊当初／若干の変更

### 第2節 深いふところ

SFを拒まず／ミステリも認める／特異なケースも

### 第3節 その後の創作と翻訳

単行本にならないか／翻訳という文学

### 第4節 蹉跎のエッセイ

文芸にこだわる手記／恩讐の彼方のこだわり

## 第四章 創刊者の死と同人誌の終刊

### 第1節 背後に潜むもの

大田洋子の影／辞意洩れる

### 第2節 創刊者逝去の前後

最後のインタビュー／代表再交代と中井先生仙遊

### 第3節 評価・顕彰・追想

地方文壇のこと／思い出の検討

### 第4節 終刊号と最後の合評会

# 中井正文と『広島文藝派』

天瀬裕康著 2000円+税 ISBN978-4-86327-474-7

個人・書店様注文書

お名前	ご注文冊数
ご住所 (〒 )	お電話番号 ( )
冊	

【書店様】  
ご注文の際には  
溪水社宛に FAX  
をお送り下さい。

FAX  
**082-246-7876**

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は